

## 保管

- 保管は直接日光や雨の当たる場所を避け、パレット等平らな面に平積みしてください。  
※開梱後、長時間放置すると変形や反りが発生することがあります。開梱後はすみやかに施工してください。  
※立てかけて保管や放置すると変形や反りが発生することがありますので、絶対行わないでください。



## 加工

### ① 切断

- 電動丸鋸で切断が可能です。  
※商品はスチールを使用していますので鋸刃は、金属用チップソー（サーメットチップソー推奨）をご使用ください。  
※切断中、粉塵が発生しますので、作業は防塵マスク、防護メガネを着用して行ってください。
- 化粧面を必ず養生してから切断をしてください。
- 切断後はサンドペーパー中目（＃120～＃240）またはヤスリをかけ、切断面は**防錆処理**を行ってください。  
（耐食性の高い鋼板を使用しておりますが切断面は防錆処理を行ってください。）

さび止め



ヒタバン切断動画  
QRコードを読み取ると、  
YouTubeの動画を視聴できます。

## 施工

### ① 施工準備

- 製品重量が重いため、複数名での施工をおすすめします。

### ② 下地の確認

- 下地は十分に乾燥させた状態で施工を行ってください。
- 下地は入念な下地処理を行い、不陸が無いよう平滑にしてください。
- 下地は必要に応じてプライマー処理を行ってください。
- コンクリート、ALCへの直貼りはできません。

推奨下地

- ・せっこうボード
- ・ケイカル板（6mm以上）

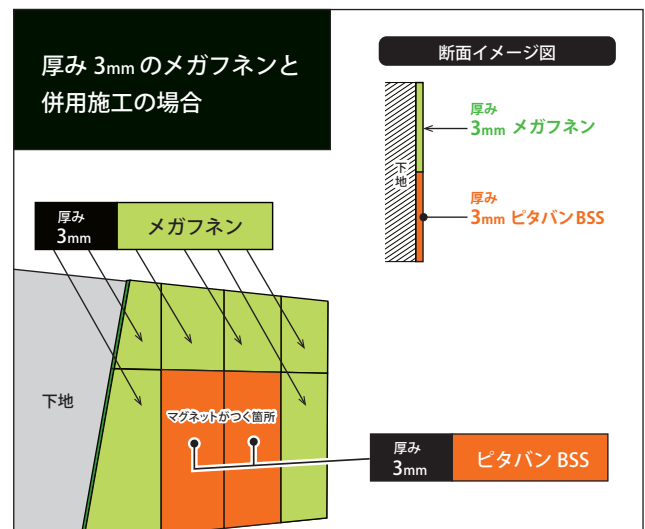
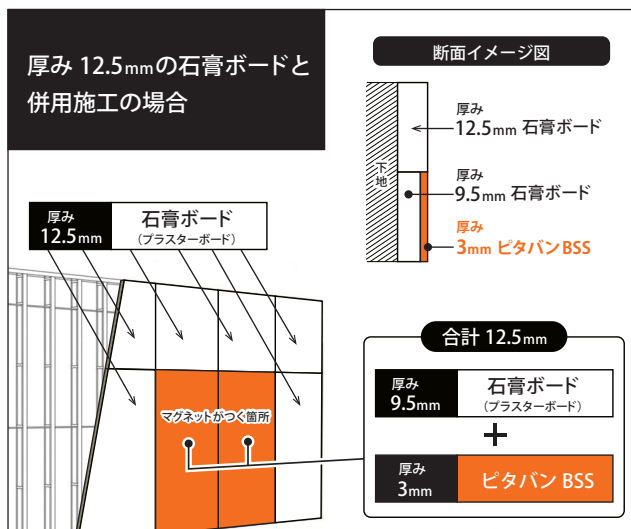
### ③ 墨出し・割付け

- 2枚以上のボードを連続する場合、ボードは温度・湿度により膨張・収縮がありますので、突き付けは行わず、2mm以上の目地を取ってください。



下地（同一厚みの箇所）に、全面貼の場合、磁石がつかなくて良い箇所に、弊社製・不燃認定建材「3mm厚メガフネン BSS」を並べての TM 工法をお勧めいたします。  
（施工が容易で、不陸も少ないので推奨いたします）

詳しくは別紙「メガフネン施工のポイント」をご覧ください



## ④ ピタバン BSS の貼り付け

貼り付けには、2種類の方法があります

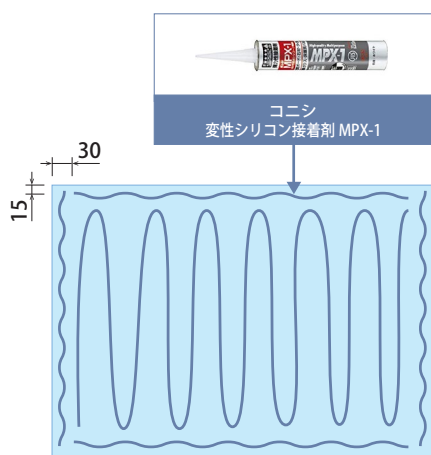
A

### 接着剤 + 皿ビス固定の場合

※主に 9.5mm の石膏ボードと併用した場合

#### 1 接着剤の塗布

- 変性シリコン接着剤 MPX-1のノズルを直径7mmとなるようにカットしてください。
- MPX-1を図のようにビード塗布してください。  
※接着剤の使用量は 0.5 本 / m<sup>2</sup>  
目安 ・ 910×1,820mm に 3/4 本 (約 250ml) 使用  
・ 910×2,450mm に 1 本 (約 333ml) 使用



●必ず外周にも MPX-1 を塗布してください

#### 2 ピタバン BSS の貼り付け

- MPX-1 を塗布後 10 分以内に化粧材を所定の位置に貼りあわせてください。  
※ピタバンの特性上、ソリが発生している場合がありますので、必ず浮きがないよう確認してください。
- 石膏ボード等と並べて併用施工の仮止めには皿モミ加工をしてから皿ビスにて(胴ぶち・軽天等)下地に固定をしてください。  
両面テープを使用する場合は、1.1mm 厚の両面テープを使用すると厚みが合わない場合がありますので、出来るだけ厚みのない両面テープを使用してください。  
ピタバン BSS の切り口や皿ビスの錆び止めには、上記錆び止めを推奨いたします。  
※上記の両面テープや皿ビスは、接着剤が硬化するまでの間の固定の補助を目的として使用します。

#### 3 養生

- 接着剤が硬化するまで、1日以上養生をお願いいたします。

P3 に続く



B

### TM工法の場合

※全面施工、又はメガフネンと併用した場合

#### 1 両面テープの貼り付け・接着剤の塗布

- ピタバン裏面の上下左右端部30mmの位置と中央に両面テープをピッチ約300mmで図のように貼り、強く押さえて密着させてください。  
※両面テープ使用量は約5.5m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>を目安としてください。  
※コニシ パネル用両面テープ 1.1mm 厚 × 20mm 幅推奨
- 変性シリコン接着剤 MPX-1のノズルを直径7mmとなるようにカットしてください。
- MPX-1を必ず外周に塗布して、中央部は図のようにビード塗布してください。  
※接着剤の使用量は 0.5 本 / m<sup>2</sup>  
目安 ・ 910×1,820mm に 3/4 本 (約 250ml) 使用  
・ 910×2,450mm に 1 本 (約 333ml) 使用



●必ず両面テープ外周に MPX-1 を塗布してください

#### 2 ピタバン BSS の貼り付け

- MPX-1 を塗布後 10 分以内に化粧材を所定の位置に貼りあわせてください。  
※ピタバンの特性上、ソリが発生している場合がありますので、必ず浮きがないよう確認してください。
- テープの位置を手で押さえて、ピタバン中央に浮きが発生しないよう十分に密着させてください。  
※ピタバンの特性上、ソリが発生している場合がありますので、必ず浮きがないよう確認してください。
- ずらし等のはり調整が出来ませんので、注意して施工してください。

#### 3 養生

- 接着剤が硬化するまで、1日以上養生をお願いいたします。

P3 に続く



## 4 クロス施工

- 石膏ボード等と併用施工の場合、継ぎ目の不陸処理はファイバーテープ+パテ処理を推奨します。

## 4 クロス施工

- メガフネンと併用施工の場合、継ぎ目の不陸処理はファイバーテープ+パテ処理を推奨します。  
※詳しくは別紙「メガフネン施工のポイント」をご覧ください。

- 壁紙用のり(でん粉系接着剤)に、プラゾール SS を 20%程度混合する事で、接着強度が増します。また、プラゾール SS をピタバン BSS に捨て糊塗工することで、クロスの中の空気抜き作業が早く出来るので推奨いたします。



- クロス張り施工時、クロスの空気抜きはスーマーやスキージーを用いて取り除いてください。
- 壁紙へ接着剤塗布後のオープンタイムは、規定通り充分に取ってください。



- 撥水効果や傷防止機能のある壁紙や多層フィルムの壁紙は、施工後、壁紙表面に膨れが発生する恐れがありますので使用できません。
- 厚い壁紙や表面の凹凸が大きい壁紙はマグネットの保持力が低下するため使用しないでください。



- ※ ピタバン BSS は塗装施工することも可能です。継ぎ目の不陸処理後、水性・弱溶剤等の塗料で仕上げてください。

## お手入れ

- 表面の柔らかいスポンジ・布で乾拭き又は希釈した中性洗剤を使用し、良く吹き上げて乾燥させてください。  
※傷の原因になりますので、たわし類、漂白剤、アルカリ洗剤、酸性洗剤は使用しないでください。  
※クロス張りをした場合は、各クロスの取扱説明書に従い、表面のお手入れをお願いいたします。